



【アイキッズとの海藻おしば交流会】

令和3年1月23日（土） 9:00～12:00

場 所：自然環境活用センター 交流室

スタッフ：南三陸ネイチャーセンター友の会
南三陸町自然環境活用センターアイキッズのみんなと。スクリーン
に映っているのが調査隊メンバー。

（写真提供：アイキッズ）

滋賀県の仲間と海藻おしばづくりを通じた交流！

今回は、滋賀県の琵琶湖で活動するエコクラブ「アイキッズ」のみんなと、オンラインで交流しました。画面ごしに自己紹介することにはじめは戸惑いもみられましたが、ゲームなどを通じて次第に慣れてくると、笑い声も飛び出すようになりました。隊員たちは、今年度の活動紹介や、南三陸の海藻の説明なども行い、南三陸町の魅力をしっかり伝えることができました。

活動の流れ

①オンラインで滋賀県の会場とつないで自己紹介

一人一人が順番にカメラに向かって自己紹介しました！



②調査隊メンバーによる活動紹介！

7月のオリエンテーションと干潟調査から始まったこの一年の活動を振り返りながら、南三陸町の魅力を紹介しました（写真左）。その後にはアイキッズの活動紹介もありました（写真右）。



③2つの会場をつないでゲーム！（アイスブレイク）

滋賀県の中村大輔先生の司会で、グループ対抗のゲームで盛り上がりました。下の写真は、「日本で人気のスポーツといえば？」について話し合い、グループごとに発表しているところです。



④南三陸の海藻と海藻おしぼの説明

調査隊メンバーが、南三陸には海藻が200種類以上あることや、海藻のカラフルさについて説明しました。みんな立派な発表でした。



⑤2つの会場で海藻おしぼの作成！

南三陸の会場（写真左）と滋賀県の会場（写真右）で、南三陸産の海藻を使って海藻おしぼのしおりを作りました。志津川湾の恵みで作ったしおりが、大切な思い出になってくれたら嬉しいです。



【今後の予定】

2月20日（土）：プランクトン観察 & ホタテの解剖

ネイチャーセンター前の海岸でプランクトンを採集して顕微鏡で観察します。プランクトンって、いったいどんな形をしているのでしょうか？その後、南三陸町産のホタテの解剖を通して、志津川湾の恵みについて学びます。